



～笑顔いっぱい やる気 やさしさ あふれる 学校～

夏の一期一会 ～東京大学院生4名と共に～

サマースクールの時間に6年生が東京大学院生と交流の場をもちました。1時間目は進路についての質問。2時間目は各教室に分かれて、学習支援をしていただきました。

交流会の中から ～勉強・進路・悩み克服・・・～



掛け合いを入れたり、ジョークを交えたり、わかりやすく説明をしていただきました。経験を基にお話していただいた言葉には深みがあり、思わずうなずいてしまう内容でした。

【勉強について】「塾は嫌だった。勉強も好きではなかった。ではなぜ今大学院で勉強しているかという勉強がわかったときがうれしかったから。わかるという小さな達成感を積み重ねていくことが大切」「部活部活の毎日でした。勉強には集中できなかった。だからあえて家族のいる場所で勉強した」「大学院に入るときは、どうしても勉強しなければならなかった。勉強したらゲームをやって気分転換した。勉強&ゲーム

このサイクルを永遠に繰り返した。」「語呂合わせで覚えた。この学校の階段のように目につくところに、例えばトイレの一番目につきやすい場所に紙を貼ったりした。」「覚え方はそれぞれ人によってやり方があると思う。」「自分は書いて覚えた。あるいは口に出して繰り返す方法もある。教科によっても違うだろう。例えば算数の公式だったら、なぜそんな公式になるのか理由を考えてから覚えるといい。社会だったら繰り返すことが大事。」

【ノートの取り方等】「先生が書いたことを写す。これは大切。先生はわかりやすく大事なことを書いてくれる。他に自分で後で見えてわかる工夫も必要。」「ノートはぜひたくに使う。例えば2段で」「東大に入るために特別な勉強はしなかった。基本は学校の教科書や授業。それで入試に困ることはなかった。」

【進路】「なぜ東大に入ったか。徳島のいなかで生まれた。とにかく都会で生活してみたかった。都会といえば東京。なぜ東大かという東大は1、2年生で全ての教科を平等に学べる。そしてその後で自分に勉強したいことを選択できるから」「小さい頃の夢はころころと変わった。パティシエ、アイドル、バレー選手・・・そのうち大きくなるにつれて、自分の頑張っていることが夢になってきた。」「自分は何を将来やっていいかわからず、さまよい歩いた時期がある。今は研究者を目指している。」「スポーツ選手のように夢がかなったというのいいだろう。でも夢は決まっていなくてもいい。夢をもつことよりもいつか自分の夢をもてるように頑張ることが大切ではないか。私は大学は早稲田を選んだ。早稲田は私立大学ではめずらしく教育学部が独立していたので、そこで勉強したいと思った」

2016 夏に感謝！

41日間の夏休み、大きな事故はなく、無事終了しました。夏休み中も中根っ子達のやる気一杯の姿を見ることができました。サマースクール、低学年児童も真剣に自己採点を行っていました。カップ祭り、全力で踊り終わったあとの笑顔、疲れを見せない健康で鍛えられた4年生パワーを感じました。学校保健委員会では学校医、薬剤師7名の講師先生からは専門的ご指導、保護者代表の皆様からは情報提供をいただきました。睡眠や食事がいかに児童の成長にとって大切なものかを実感することができました。(詳細は保健だよりをご覧ください)第2回PTA奉仕作業、学校をきれいにしてくださる保護者の皆様の姿には、いつも温かなエールを感じています。毎日の児童クラブでは、夏の日差しをものともせず、楽しく元気に遊ぶ子どもらしさが素晴らしいです。そして子どもに寄り添う児童クラブスタッフの皆様には感謝の気持ちで一杯です。昨日8月31日(水)、一日遅れにはなりましたが登校日を迎えました。全校集会では、リオオリンピックを話題に取り上げました。メダル41個の獲得を始め、日本選手団の活躍を通して、努力すること、支え合うこと、理解し合うこと、讃え合うことの大切を学べた夏が過ぎ、今日から9月。たくましさを増した児童の活躍する姿が楽しみです。



伸びと曲がり どちらも美しい！
真夏のハナミズキ通りで見せた4年生パワーに拍手



自らの答をもち、自らの答に向き合う学びの姿
～自己採点を行う1年生～

